林 純薬工業株式会社
HAYASHI PURE CHEMICAL IND.,LTD.

作成日　2013/04/15
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	二塩化ジーｎーオクチルすず-d34
製品コード	99052587
整理番号	Q4-10-1
供給者の会社名称	林 純薬工業株式会社
住所	大阪府大阪市中央区内平野町3丁目2番12号
担当部門	マーケティング・商品開発部　商品企画グループ
電話番号	06-6910-7290
緊急連絡電話番号	06-6910-7290
FAX番号	06-6910-7340
URL	http://www.hpc-j.co.jp
E-mail	mpd@hpc-j.co.jp

2. 危険有害性の要約

ジクロロジオクチルスズとして

GHS分類

健康有害性

急性毒性(経口) 区分外
急性毒性(吸入:粉じん) 区分2
生殖毒性 区分1B
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語	危険
危険有害性情報	H330 吸入すると生命に危険 H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202) 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。(P260) 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271) 保護手袋を着用すること。(P280) 呼吸用保護具を着用すること。(P284)
応急措置	吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 直ちに医師に連絡すること。(P310)
保管	施錠して保管すること。(P405)
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　化学物質

化学名又は一般名　ジオクチルすず(Ⅳ)クロライド-d34

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学特性	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ジクロロジオクチルスズ-d34	99%	$C_{16}D_{34}Cl_2Sn$			

分類に寄与する不純物及び安定化添加物　情報なし

労働安全衛生法　名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)　すず及びその化合物(法令指定番号:322)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)　第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)　有機スズ化合物(スズとして)(法令指定番号:239)

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、安楽に待機させ、窮屈な衣服部分を緩めてやる。

医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

汚染した衣服、靴、靴下を脱がせ遠ざける。接触した身体部位を水と石鹸で洗うこと。

医師の手当、診断を受けること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

医師の手当、診断を受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに多量の水を飲ませる。

医師の手当、診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤　水噴霧,粉末消火薬剤,二酸化炭素,泡消火薬剤,乾燥砂

使ってはならない消火剤　通常の状況下では、不適切な消火剤はない。

特有の危険有害性　火災時に刺激性もしくは有毒なフュームまたはガスを発生する。

特有の消火方法

周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

移動不可能な場合、容器及び周囲の設備等に散水し、冷却する。

着火した場合、初期消火は、火元(燃焼源)を断ち、適切な消火剤を用いて一挙に消火する。

消火を行う者の保護　火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
作業の際には、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、必ず適切な保護具を着用し、風下で作業を行わない。

環境に対する注意事項
環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
砂又は不活性吸着剤を撒いて、できるだけ掃きとり密閉できる空容器に回収し、安全な場所に移す。
回収跡は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用して作業する。
長時間または反復の暴露を避ける。
漏れ、あふれ、飛散しないように取扱い、ミスト、蒸気の発生を少なくし、換気を十分にする。
作業後は容器を密栓し、うがい手洗いを十分にする。
取り扱う場合は局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取り扱う。

安全取扱注意事項
眼、皮膚、衣服との接触を避ける。
飲み込みを避けること。

衛生対策
取扱い後はよく手を洗いうがいをする。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件
直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。容器を密閉し、火気、熱源より遠ざける。

安全な容器包装材料
遮光した気密容器(ガラス、ポリエチレン)

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH
ジクロロジオクチルスズーd34	設定されていない		TWA 0.1 mg/m^3 ,STEL 0.2 mg/m^3 (as Sn) (Skin)

設備対策
取扱場所での発生源の密閉化、または局所排気装置、全体換気装置の設置。取扱い場所の近くに安全シャワー、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具
防塵マスク、自給式呼吸器(火災時)

手の保護具
保護手袋

眼の保護具
保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具
保護服、保護長靴、保護前掛け

９．物理的及び化学的性質

ジクロロジオクチルスズとして

物理的状態	固体
形状	結晶性粉末
色	白色～淡褐色
臭い	情報なし
臭いのしきい（閾）値	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	45-47℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	175-185℃ (2mmHg)
引火点	情報無し
発火点	情報無し
蒸発速度（酢酸ブチル＝１）	データなし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	1.35×10^{-4}(25℃)
比重（密度）	$1.3g/cm^3$(60℃)
オクタノール/水分配係数	データなし
溶解度	データなし
動粘性率	データなし

１０．安定性及び反応性

反応性	情報無し
化学的安定性	水によって分解されやすい
危険有害反応可能性	強酸化剤との接触・混合で激しい反応を起こすことがある
避けるべき条件	日光、湿気
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	スズ化合物、ハロゲン化物

１１．有害性情報

ジクロロジオクチルスズとして

急性毒性：経口	ラット経口LD_{50}値3300～4700mg/kg（Cannon Laboratories 1979)、7000mg/kg(Mesch & Kugele 1992)、>5000mg/kg(Ciba-Geigy)等により、区分外とした。
急性毒性：経皮	データなし
急性毒性：吸入（気体）	GHSの定義による固体である
急性毒性：吸入（粉じん）	LC_{50}(1hr)= 390mg/m^3より、LC_{50}(4hr)= 0.0975mg/Lとなるため、区分2とした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データがなく分類できない。なお、基本的に刺激は無い（SIDS）との情報があるが、試験方法が不明であり、分類できない。
生殖毒性	ラットにおいて、妊娠率の低下、生存新生仔率の減少、生存率の低下、着床後損失の増加 、発育抑制仔数の増加が見られる（SIDS)ことから、区分1Bとした。

12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
オゾン層への有害性	データなし

ジクロロジオクチルスズとして

水生環境有害性(急性)	データが無く分類できない。なお、ゼブラフィッシュ:LC_{50}(96hr):>0.24mg/L、オオミジンコでEC_{50}(48hr):>0.28 mg/L、緑藻(S.subspicatus):ErC_{50}(72hr)> 0.002mg/L (SIDS)との情報がある。
水生環境有害性(長期間)	データが無く分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明示して処理を委託する。 固化隔離法:セメントで固化して埋立処分する。 燃焼法:アフターバーナー及びスクラバーを具備した焼却炉を用いて焼却する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	該当しない
UN No.	該当しない
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex Ⅱ, and the IBC code	Not applicable
航空規制情報	該当しない
UN No.	該当しない

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
国連番号	該当しない
品名	該当しない
海洋汚染物質	該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによる ばら積み輸送される液体物質	該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	2786
品名	該当しない
特別安全対策	運搬に際しては、容器の転倒、損傷、落下、荷崩れ等しないように積み込み、漏出のないことを確認する。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
大気汚染防止法	有害大気汚染物質(中央環境審議会第9次答申)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項(2) 輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
参考データ(金属換算係数)	[金属換算係数データ]

16. その他の情報

参考文献	国際化学物質安全性カード(ICSC) 16313の化学商品(化学工業日報社) 独立行政法人　製品評価技術基盤機構 The Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH
その他	当該製品の化学物質製品を取り扱う事業者に対して提供するものであり、安全を保証するものではありません。 現時点における該当化学物質の情報を全て検証しているわけではありません。 当該化学物質について常に未知の危険性が存在するという認識で、製品運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先して使用者自己の責任においてご使用下さい。 当該化学物質を使用する際は、使用者自ら安全情報を収集すると共に使用される場所・機関・国などの、法規制等については使用者自ら調査し最優先させてください。 国または地方の規制についての調査は、当社としては行いかねますので、この問題については使用者の責任で処理願います。 このSDSは林 純薬工業株式会社の著作物です。 当該物質の日本語によるSDSと他国言語にて翻訳されたSDSが存在する場合、内容の相違があるなしに関わらず日本語で記述された文書が優先され他国言語による文書は参考文書とします。